

8 地域の協力を得て豊かな森と海をよみがえらせた 「えりも岬」の治山事業

北海道（えりも町）



昭和初期（昭和28年）



現在



えりも式緑化工法（昭和32年）



防風柵の設置状況（昭和46年）



昭和初期

○所在場所
北海道幌泉郡えりも町えりも岬

○施設・工法の概要
海岸防災林造成事業 195ha

○解説
えりも岬は、明治時代に開拓民が増加して無計画に伐採され、昭和初期には広大な砂地でした。

昭和28年から緑化が始められ、厳しい自然条件の中、地域住民の協力を得ながら、海藻を表土に敷き込む「えりも式緑化工法」による緑化や森林造成が進められました。

現在では10kmにおよぶ海岸防災林が造成され、地域住民の生活環境の保全や地域の主要産業であるコンブ漁の漁場保全に寄与しています。

現在も、漁業関係者による植樹等のボランティア活動が行われています。